

令和8年度 園経営計画 足立区立伊興保育園

園長 小俣 春美

1 園の経営目標

- (1) 心身ともに健康で豊かな心情をもち、主体的に遊びや生活に取り組む子どもの育成を目指し夢や希望を信じて生き抜く力の基礎を培う。
- (2) 保護者との信頼関係を大切にし、共に育て合い、子育ての喜びを感じられるようにする。
- (3) 地域との関わりを大切にし、地域の子育て支援の拠点園としての役割を担う。

2 園の現状

- (1) 子どもたちは朝から園庭で固定遊具、可動遊具、水、砂、土等の豊かな環境に主体的に関わり思う存分遊んでいる。樹木や草花、虫等の自然に触れながら興味関心を深めている。
- (2) 園内の豊かな絵本環境のもと、子どもたちは自ら好きな絵本を手に取り、保育者や友達と読み合う楽しさを感じている。
- (3) 子ども、保護者、保育者の信頼関係を構築しながら、お互いを尊重し合い、育ち合う関係性を大切に育んでいる。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	主体的に環境に関わり、夢中になって遊ぶ子どもを育てる。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 体を動かす心地よさを感じて安全に遊べる環境を整える。	ア 運動遊びについて『こども主体の保育のための指導計画』を年間計画に取り入れ実践する(園庭環境、月1回確認)。
(2) 自然環境を整備し、樹木や草花、生き物に触れて遊ぶ。	ア すくわくプログラムとして園内研修に取り組みながら、自然環境や遊びに必要な遊具を充実させる(月1回確認、園内研修年6回実施)。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	魅力的な読書環境の中、絵本から広がる遊びの世界を構築する。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 室内、廊下、園庭に設置している絵本コーナーを常に整備し、充実させていく。	ア 絵本棚の絵本の選書に配慮し、手に取りたくなる絵本、手に取ってほしい絵本を用意していく。(月1回確認) イ 『紙芝居屋さん』『絵本屋さん』を見直しながら継続し、より楽しい時間にしていく。(読書担当会議4回)
(2) 絵本の楽しさを保護者にも伝えながら、親子で読み合える機会を作っていく。	ア にこにこルームを金曜、月曜に『絵本ルーム』として、親子で使用できるようにしていく。借りる絵本を親子で選べるようにする(読書通帳の活用、保護者への周知)。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	子どもと保育者、子どもと子どもが互いに尊重し合う心を育む。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもの声、声にならない思いを受け止め、安心して自分を表現できるようにする。	ア 保育者が「子どもの先回りをしない」ことの大切さ、子どもの人権の尊重について学び合い、実践していく。(会計年度任用職員会議、事例検討を年4回)
(2) 園生活の子どもの姿を保護者に積極的に配信し、共有する。	ア 保育記録の配信(動画の活用)、保護者参加行事の持ち方、トークタイムなど様々な方法で保護者との理解を深め合っていく。